

③ 長崎原爆病院・長崎胸部腫瘍研究グループ p10~15

(第49回日本呼吸器学会九州地方会：平成14年11月8日)

新規分子標的薬イレッサによる肺癌の治療

日本赤十字社長崎原爆病院呼吸器科
長崎胸部腫瘍研究グループ(NTOG)

福田正明, 高谷 洋, 福田 実, 木下明敏
長島聖二, 神田哲郎, 榎崎史彦, 笠井 尚
川畑 茂, 土井誠志, 中村洋一, 副島佳文
早田 宏, 岡 三喜男, 河野 茂

NTOG

背景と目的

- イレッサはEGFRチロシンキナーゼの特異的阻害剤で、非小細胞肺癌に対して抗腫瘍効果や癌による症状を改善する、これまでにない新規の治療薬である。
- 臨床第1, 2相試験では優れた有効性と安全性が示された。
- イレッサの実地臨床上的有用性を再確認し、さらに今後検討すべき課題を探索する目的でretrospective studyを行った。

NTOG